

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

<b>事務事業名</b>		観光推進体制強化事業(観光協会の組織力強化)		<b>担当部署</b>	経済建設部 経済局 観光振興課	
<b>総合計画体系</b>				<b>根拠法令計画など</b>	鳴門市観光振興計画	
<b>基本政策(大項目)</b>	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
<b>政策(中項目)</b>	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと		<b>事業期間</b>	<b>開始</b>	平成 <input type="text" value="23"/> 年度
<b>(小項目)</b>	観光		<b>終期</b>			<input type="text" value="未定"/>
<b>施策</b>	1	観光・交流のまちづくり				
<b>基本事業</b>	2	国内外の観光客受け入れ態勢の整備				

◎事業概要(PLAN)

<b>事業対象</b>	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市うずしお観光協会							
<b>事業目標</b>	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	観光資源の育成や宣伝、誘客につながるイベントの実施など、市観光振興の基幹となる観光協会の組織力強化により、入込客数の増、観光客の利便性向上を図る。							
<b>成果目標</b>	事業目標の達成度合	<b>指標名</b>		<b>23年度</b>	<b>24年度</b>	<b>25年度</b>	<b>26年度</b>	<b>27年度</b>	<b>単位</b>
		観光入込客数		2,250,000	2,300,000	2,350,000	2,400,000	2,450,000	人

◎実施結果(DO)

<b>事業実施内容</b>	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	航空業界OBを事務局長として採用するなど、4名のプロパー職員により組織体制の強化を図った。 理事会・総会で観光協会を一般社団法人として法人化することについて承認を受け、設立準備委員会を設置し、定款や新たな法人の名称、理事等組織のあり方について議論を行った。 設立準備委員会で法人化に向けての準備をすすめ、10月2日、「一般社団法人鳴門市うずしお観光協会」として法人設立登記を行った。							
<b>事業実施手法</b>		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
		<b>指標名</b>	<b>23年度実績</b>	<b>24年度実績</b>	<b>25年度目標</b>	<b>26年度目標</b>	<b>27年度目標</b>	<b>単位</b>	
<b>活動指標</b> 実施した事業の活動量を示す指標	1	会員数	126	190	200	210	220	数	
	2								
<b>成果指標</b> 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数		2,151,722	1,895,609	—	—	—	人	
	<b>目標達成率(実績/目標)</b>			82.4	—	—	—	%	

<b>コスト分析</b>		<b>23年度実績</b>	<b>24年度実績</b>	<b>25年度</b>	<b>26年度</b>	<b>27年度</b>	<b>単位</b>	
<b>事業費</b>	(財源内訳の合計)			18,000	18,000	18,000	18,000	千円
	財源内訳	国		0	0	0	0	
		県		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他		200	200	200	200	
		一般財源		17,800	17,800	17,800	17,800	
<b>事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)</b>			3,361	3,361	3,361	3,361	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)		0.5	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
<b>総事業費</b> (事業費と事業にかかる人件費の合計)		0	21,361	21,361	21,361	21,361	千円	

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	観光と地場産品の販売・普及は連携した一体的な取り組みが必要であることから、平成25年3月に解散した「地場産業振興センター」の業務を継承し、観光・物販の振興における中核的組織を目指す。 また、今後、旅行業等、収益事業の展開を検討するなど、新たな観光振興事業を展開すると同時に、会員にとっても魅力ある組織への転換を図り、会員数の増大を目指す。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	本市観光振興の基幹をなす観光協会の組織力が強化されることで、より効果的な誘客施策を講じることが可能となり、観光客の受入体制整備の強化も図ることができる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	法人化により、社会的信用性が増すだけでなく、旅行業等収益事業や受託業務の新規展開も可能となり、新たな観光振興事業を実施することができる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	収益事業等で自主財源を確保していくことで、経営基盤を強化していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>▼</span> <span>▼</span> </div>			
	どのように改革するのか				